

【関係法令等】

- 日本国憲法 ○教育基本法
- 学校教育法 ○学習指導要領
- 東京都教育委員会教育目標
- 大田区教育委員会教育目標

【学校の教育目標】

人間尊重の精神を基調として、広い視野を持って未来を生き抜く、心身共にたくましい生徒を育てるために、次の目標を掲げ、全教職員で教育実践に取り組む。

- 「豊かな心」 ○「学ぶ力」 ○「健やかな体」

【願い】

- 学校、地域の実態
- 地域の期待や願い
- 保護者の期待や願い
- 期待される生徒像

学校経営方針 笑顔と信頼のあふれる学校を目指して

『豊かな心と主体性を育む教育』を推進する。
『学力向上・体力向上のための取り組み』を推進する。
『地域と共に子どもを育てる教育』を推進する。
『規律ある学校生活』を送らせる。
『信頼される学校』であり続ける。

各教科の指導の重点

○「区学習効果測定」、「都学習状況調査」「保護者・生徒による授業評価」等の結果分析、基礎・基本の定着と思考力を高めるための「授業改善推進プラン」の作成による授業改善への取り組みの充実
○生徒の学習状況の把握と個に応じた指導の充実のために「学習カルテ」の作成と個別面談の実施
○ICT教材の活用
○土曜補習(年6回)、放課後学習教室、夏季休業中の学習教室の実施

【本校における確かな学力の捉え方】

本校では生徒の人間としての調和のとれた成長を目指し、次に掲げる力を育成する。

- ①基本的な生活習慣と学習習慣
 - ・規則正しい生活をしていこうとする意欲
 - ・家庭学習を継続する力
- ②授業規律と学習環境を整える力(姿勢・態度・服装・授業前の準備)
 - ・学習用具を揃える力
 - ・話を聞く力
 - ・ノートをとる力
- ③基礎・基本的な学力
 - ・読む力
 - ・読んで理解する力
 - ・話す力
 - ・書く力
 - ・計算する力
- ④知識及び技能を活用する力
 - ・思考力
 - ・判断力
 - ・表現力
 - ・発表力
- ⑤主体的・創造的に学び続ける意欲や態度
- ⑥情報の収集力・活用能力
- ⑦自ら課題を設定し探究する力、課題解決能力、コミュニケーション能力
- ⑧マナーや規範意識
- ⑨個性・適性を生かし社会に貢献していく力、自己実現を図ろうとする力

道徳教育の指導の重点

○「深く考え、議論する」道徳へ向けた指導法の研修を推進し、意図的・計画的な道徳授業の実施を図る。
○小中連携「規範意識向上プログラム」を計画的に実践し、何が正しいかを判断し、自ら責任をもって行動できる能力(自己指導力)を養う。
○道徳授業地区公開講座を充実させ、家庭や地域社会と連携した心の教育を推進する。
○自他の命を大切にできる気持を養い、命の尊さを知る教育に取り組む。(3月生命尊重週間)

総合的な学習の指導の重点

○生徒自らが課題を設定し探求する学習の3年間を見通した計画的な実施
○環境問題や地域の課題、職業や自らの将来などへの課題意識をもたせる指導と、課題解決能力やコミュニケーション能力の育成
○図書室やパソコン室・タブレットの有効活用、地域の図書館や関係諸機関との連携など、様々な学習環境の積極的な活用

基礎的・基本的な生活習慣・学習習慣

◇ 広義の基礎・基本
学習指導要領に示された目標および内容

◆ 狭義の基礎・基本
・読む力 ・読んで理解する力 ・話す力
・書く力 ・計算する力
・生徒の実態に応じた身につけさせたい力

特別活動の指導の重点

○「時と場と立場をわきまえた行動」の確立と主体的な活動を通した自己伸張
○生徒会活動・学級活動の充実による自主的・自治的な態度の育成(ノーチャイムデーの実施)
○部活動への積極的な取組による豊かな感性の涵養と体力の向上、生徒相互・生徒と教師の信頼関係の深化
○特別支援学級との交流活動の充実

進路指導・キャリア教育の指導の重点

○「人としてのあり方、生き方」を考えさせる指導
○3年間を見通した進路指導計画に基づく系統的・計画的な指導の継続
○3日間の職場体験学習等を通して、社会に貢献する態度の育成と自己実現を図ろうとする力の涵養

生活指導の重点

○規範意識の向上と望ましい生活習慣の確立
○学校生活調査とHyper-QUの実施、スクールカウンセラーと連携した教育相談の充実
○セーフティ教室(SNS、薬物乱用防止)の実施
○地域や家庭、関係諸機関との連携による健全育成、安全指導の徹底

本校の授業改善に向けた視点

教育課程編成上の工夫

新学習指導要領の趣旨を踏まえて
○基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力、**及び人間性**の育成
○学校評価の改善・工夫とそれを生かした授業評価の実施
○「朝読書」・「新聞教育」を活用した読解力・表現力の育成
○道徳の授業の充実

指導内容・指導方法の工夫

○数学(全学年)で少人数学習熟度別授業を実施
○英語(全学年)でチームティーチングによる指導を実施
○総合的な学習の時間における職場体験・上級学校訪問などの体験的な活動の充実
○個に応じた指導の充実のため「学習カルテ」の作成とカルテに基づく個別の面談の実施

研究・研修への取り組み

○生徒の学習意欲を引き出す指導方法の工夫と学力向上のための取り組みの充実
○職層に応じた研修等(2、3年次、主幹・主任教諭、研究員等)や校外の研修への積極的な参加と研修成果の還元
○特別支援教育コーディネーターを中心とした特別支援教育に対する支援体制の確立と

評価の工夫

○より精度の高い評価基準を目指した適切な評価計画に基づく評価の実施
○指導と評価の一体化(生徒の学習意欲を喚起し、生徒・保護者への評価に対する説明責任を十分に果たす)
○各教科の学習状況の保護者への周知と家庭における学習習慣の定着を目指した取り組みの

小学校および家庭や地域社会との連携の工夫

○連携小学校との共通指導目標(「学習指導・指導スタンダード」)の活用
○小学校児童を対象とした中学校見学・部活動体験入部の実施
○ボランティア活動への積極的な参加の促進と地域との連携の充実
○「アシスト羽中(学校地域支援本部)」との連携
○学校と家庭の連携推